

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【公表番号】特表2018-506781(P2018-506781A)
 【公表日】平成30年3月8日 (2018.3.8)
 【年通号数】公開・登録公報2018-009
 【出願番号】特願2017-535422(P2017-535422)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0346 (2013.01)

G 0 6 F 3/038 (2013.01)

A 6 1 B 3/113 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/0346 4 2 3

G 0 6 F 3/038 3 1 0 A

A 6 1 B 3/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月31日 (2018.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源のセットと、

カメラのセットと、

光源の前記セットに対して動作可能に結合されたプロセッサであって、

光源の前記セットのサブセットを作動させる工程であって、前記サブセットは前記セットよりも小さく、作動された光源の前記サブセットは第 1 のストロボ周波数でストロボされる、工程と、

第 1 の光源から発せられる光がユーザの眼に達していないと決定する決定工程であって、前記第 1 の光源は作動された光源の前記サブセットに含まれる、工程と、

前記決定に基づいて、前記第 1 の光源から発せられる光の量を減少させ、光源の前記セットの第 2 の光源を作動させる工程であって、前記第 2 の光源は作動された光源の前記サブセットに含まれておらず、前記第 1 の光源から発せられる前記光の量を減少させる工程は前記第 1 の光源を第 2 のストロボ周波数でストロボする工程を含み、前記第 2 のストロボ周波数は前記第 1 のストロボ周波数未満である、工程と、

前記カメラのうちの 1 つ以上によって捕捉された画像において前記第 2 のストロボ周波数を検出する工程と、

前記第 2 のストロボ周波数の検出に応答して、前記第 1 の光源を前記第 1 のストロボ周波数でストロボする工程と、を含む動作を実行するように構成されている、プロセッサと、を備えるシステム。

【請求項 2】

前記第 1 の光源から発せられる前記光が前記ユーザの前記眼に達していないという前記決定は、前記第 1 の光源の近くの近接センサに基づく、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記決定工程は、

前記ユーザの前記眼の第 1 の画像を前記ユーザの前記眼の第 2 の画像と比較する工程と

、

前記比較に基づいて、作動された光源の前記サブセットに含まれる前記第１の光源からの反射が前記第１の画像に存在し、かつ前記第２の画像に存在しないと決定する工程と、を含む、請求項１に記載のシステム。

【請求項４】

前記第１の光源から発せられる前記光の量を減少させる前記工程は、前記第１の光源を非作動にする工程をさらに含む、請求項１に記載のシステム。

【請求項５】

前記第１の光源から発せられる前記光の量を減少させる前記工程は、前記第１の光源の強度を減少させる工程をさらに含む、請求項１に記載のシステム。

【請求項６】

前記動作は、前記第２のストロボ周波数の検出に応答して、前記第２の光源から発せられる光の量を減少させる工程をさらに含む、請求項１に記載のシステム。

【請求項７】

前記動作は、
前記光源の各々の優先順位を計算する工程と、
作動された光源の前記サブセットに含まれない前記光源のうちの最も高い優先順位を有する光源を前記第２の光源として選択する工程と、をさらに含む、請求項１に記載のシステム。

【請求項８】

前記動作は、
光源の前記セットを収容するデバイスが回転されていると検出することに応答して、前記光源の各々の前記優先順位を更新する工程をさらに含む、請求項７に記載のシステム。

【請求項９】

方法であって、
光源のセットのサブセットを作動させる工程であって、前記サブセットは前記セットよりも小さく、作動された光源の前記サブセットは第１のストロボ周波数でストロボされる工程と、

ユーザの眼の第１の画像を前記ユーザの前記眼の第２の画像と比較する工程と、
前記比較に基づいて、作動された光源の前記サブセットに含まれる第１の光源からの反射が前記第１の画像に存在し、かつ前記第２の画像に存在しないと決定する工程と、
前記決定に基づいて、マシンのプロセッサが、前記第１の光源から発せられる光の量を減少させ、光源の前記セットの第２の光源を作動させる工程であって、前記第２の光源は作動された光源の前記サブセットに含まれておらず、前記第１の光源から発せられる前記光の量を減少させる工程は前記第１の光源を第２のストロボ周波数でストロボする工程を含み、前記第２のストロボ周波数は前記第１のストロボ周波数未満である、工程と、

カメラのうちの１つ以上によって捕捉された画像において前記第２のストロボ周波数を検出する工程と、

前記第２のストロボ周波数の検出に応答して、前記第１の光源を前記第１のストロボ周波数でストロボする工程と、を備える方法。

【請求項１０】

前記第１の光源から発せられる前記光の量を減少させる前記工程は、前記第１の光源を非作動にする工程をさらに含む、請求項９に記載の方法。

【請求項１１】

前記第１の光源から発せられる前記光の量を減少させる前記工程は、前記第１の光源の強度を減少させる工程をさらに含む、請求項９に記載の方法。

【請求項１２】

前記第１の光源に基づいて前記第２の光源を識別する工程をさらに備える、請求項９に記載の方法。

【請求項１３】

前記第 2 のストロボ周波数の検出に応答して、前記第 2 の光源から発せられる光の量を減少させ、前記第 1 の光源を復帰させる工程と、をさらに備える、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 14】

命令を記憶する非一時的な機械可読記憶媒体であって、前記命令は、1 つまたは複数のプロセッサによって実行されるとき、前記 1 つまたは複数のプロセッサに

光源のセットのサブセットを作動させる工程であって、前記サブセットは前記セットよりも小さく、作動された光源の前記サブセットは第 1 のストロボ周波数でストロボされる、工程と、

作動された光源の前記サブセットに含まれる第 1 の光源からの光の反射がカメラに達していないと決定する決定工程と、

前記決定に基づいて、前記第 1 の光源から発せられる光の量を減少させ、光源の前記セットの第 2 の光源を作動させる工程であって、前記第 2 の光源は作動された光源の前記サブセットに含まれておらず、前記第 1 の光源から発せられる前記光の量を減少させる工程は前記第 1 の光源を第 2 のストロボ周波数でストロボする工程を含み、前記第 2 のストロボ周波数は前記第 1 のストロボ周波数未満である、工程と、

前記カメラによって捕捉された画像において前記第 2 のストロボ周波数を検出する工程と、

前記第 2 のストロボ周波数の検出に応答して、前記第 1 の光源を前記第 1 のストロボ周波数でストロボする工程と、を含む動作を実行させる、媒体。

【請求項 15】

前記第 1 の光源から発せられる前記光の量を減少させる工程は、前記第 1 の光源を非作動にする工程を含む、請求項 14 に記載の機械可読記憶媒体。

【請求項 16】

前記第 1 の光源からの光の反射が前記カメラに達していないと決定する工程は、ユーザの眼の第 1 の画像を前記ユーザの前記眼の第 2 の画像と比較する工程と、

前記比較に基づいて、作動された光源の前記サブセットに含まれる前記第 1 の光源からの反射が前記第 1 の画像に存在し、かつ前記第 2 の画像に存在しないと決定する工程と、を含む、請求項 14 に記載の機械可読記憶媒体。

【請求項 17】

前記決定工程は、前記光源の近くの近接センサに基づく、請求項 14 に記載の機械可読記憶媒体。

【請求項 18】

前記第 1 の光源からの前記光が前記カメラに達していないと決定する前記工程は、

前記カメラによって撮られた第 1 の画像を前記カメラによって撮られた第 2 の画像と比較する工程と、

前記比較に基づいて、ユーザの眼が前記第 1 の画像に存在し、かつ前記第 2 の画像に存在しないと決定する工程と、を含む、請求項 14 に記載の機械可読記憶媒体。